

朝晩の冷え込みはすっかり厳しくなり、熊ヶ畑の季節をしっかりと実感しています。その分、山々の紅葉など、景色の色彩は楽しめそうです。みんなでいろいろな秋をみつけて、それぞれの「実りの秋」といしましょう。



「読書の秋」本を読もう

ひろさちや著の『昔話こはウラがある』（新潮文庫）という本を紹介します。その中で、「ウサギとカメ」のお話について書いてあるところがあります。

ウサギとカメの昔話はよく知られていると思います。「走る能力では格段上のウサギが寝をしてしまい、カメとの競争に負けてしまう。」日本では「油断大敵」という教訓を示す代表的な話です。実は、このウサギとカメの話は世界中にあります。例えば

インドでは、ウサギが寝をしていて敗れるというのは同じですが、悪いのはカメになります。「なぜ起こしてやらなかったのか」というわけです。教訓は「正々堂々。友情は大切に」です。

フランスではウサギはカメを先に走らせておいて、ゴール近くで追い越そうとします。ところがスタートが遅すぎてカメに追いつくことができなくて負けてしまいます。教訓は「何事もスタートは早めに」です。

イランのカメは、競争を始める前に自分にそっくりな弟をゴールに立たせておきます。そのためウサギはどんなに速く走っても負けることになります。教訓は「意味のない競争はしてはいけない」です。

カメルーンのカメは弟だけでなく、一族全てのカメを呼び寄せます。そして、走る道筋に一定の間隔で隠れるように指示します。ウサギはカメを引き離したと思っても、いつも後ろにカメがいることになるので、もっとスピードをあげなくてはならなくなり、最後は体力を使い果たし、倒れて死んでしまいます。教訓は「すべてにおいて大切なことは準備・戦略・連帯の3つ」です。

どうでしょうか。いろんな「ウサギとカメ」のお話があるようです。教訓もそれぞれで面白いものです。

さて、私なりの「ウサギとカメ」ではこんな教訓もあるのではと思うのです。カメにとっては、「どんなに歩みが遅くても、自分の力でゴールに到達する」ことが目標で、それにむかって努力し続けたことが、結果につながったのではないかと。教訓は「目標達成のためには着実な積み重ねを」となるのではないのでしょうか。そう考えると熊っ子たちも、たとえ歩みは遅くても、自分のペースで目標が達成できるように、毎日をしっかりと過ごしてほしいと思います。

《11月の主な行事予定》

- 2日(水) 稲刈り てんとう虫号来校
- 3日(木) 文化の日
- 4日(金) ALT来校 委員会活動
- 10日(木) 校区ノーメディアチャレンジ週間～14日
- 11日(金) 山田中学校区小学校研究発表会
- 15日(火) クラブ活動(絵手紙作り)
- 17日(木) 山田中学校研究発表会
- 18日(金) 教育実習開始 ALT来校
- 21日(月) 登校指導日 コーディネーショントレーニング
5・6年生 50分授業週間～25日
- 22日(火) 学校運営協議会
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) 性暴力アドバイザー授業 5・6年生
- 25日(金) 避難訓練 ALT来校
- 28日(月) スクールカウンセラー来校
- 29日(火) 持久走大会
- 12/13(火) 標準学力調査(全学年)～14日
- 12/19(月) 学期末個人懇談会
- 12/22(木) 給食終了
- 12/23(金) 2学期終業式



10月の活動を紹介します！

「読書の秋」読み聞かせ教室(10/19)



10月11日から28日は「読書週間」として様々な取組を行いました。その一つとして、読み聞かせボランティアの牧野さんをお招きして、読み聞かせ教室を開催しました。いろんな声色を使い分けて語る牧野さんに、どの子も引き込まれるように聴き入っていました。本の奥深さを感じたことだと思います。

文化委員の読み聞かせ(10/25・26・28)



次は、文化委員の熊っ子たちによる読み聞かせです。担当の気持ちのこもったとても上手な読み聞かせで、しっかり練習の成果を発揮していました。期間中は、たくさん図書館に通って、たくさん本を読んで、本に親しんだ熊っ子たちでした。その習慣がずっと続けばと思います。

「運動の秋」秋の鍛錬遠足(10/14)



秋は身体を動かすにも絶好の季節。ということで、夜須高原記念の森公園にバスと徒歩とで遠足に行きました。往復約9kmの道のりでしたが1年生もよく歩き、公園では大いに遊びました。天気も良くて気持ちのいい一日でした。保護者の皆様には弁当作りのご指導等、ありがとうございました。

「規範意識を高めるための学習会」(10/27)

福岡県弁護士会の横手陽平先生を招いて、3～6年生と保護者、教員と一緒に、ネットトラブル防止などをテーマに学習会を行いました。

○自転車で人にぶつかりけがをさせてしまったら

○オンラインゲームをしていてけんかになって悪口を書き込んでしまったら

などの事例をもとに、法律を通して私たちの身近な社会について考えました。家庭でもいろいろなお話が進めばよいと思います。

